

# 令和4年度 第10回 門真市中学生議会

(記録誌)



令和4（2022）年8月28日

門 真 市

門真市教育委員会

# 目 次

---

---

## はじめに

---

---

門真市中学生議会とは・・・・・・・・・・・・・・・・	1
門真市中学生議会議員名簿・・・・・・・・・・・・	2

---

---

## 開 会

---

---

市長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	4
市議会議長挨拶・・・・・・・・・・・・	5
中学生議会議長、副議長指名・・・・・・・・・・	6
中学生議員の質問と市長の答弁	
【1】 第二中学校 ・・・・・・・・・・・・	7
【2】 第三中学校 ・・・・・・・・・・・・	11
【3】 第四中学校 ・・・・・・・・・・・・	16
【4】 第五中学校 ・・・・・・・・・・・・	21
【5】 第七中学校 ・・・・・・・・・・・・	27
【6】 門真はすはな中学校 ・・・・・・・・	31

---

---

## 閉 会

---

---

教育長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	38
-----------------------	----

---

---

## 資 料

---

---

議席表・・・・・・・・・・・・・・・・	40
写真集・・・・・・・・・・・・・・・・	42

---

---

# はじめに

---

---

## 門真市中学生議会とは

21世紀を担う子どもたちが、身近な市政や市議会についての仕組み・役割を学ぶとともに、自分たちの夢や希望を話し合った結果を模擬議会の場で質問する機会を通じ、市民としての意識の醸成を図ることを目的として開催しています。

本年度は、市内6つの公立中学校を代表し、18名の中学生議員が、市政や市議会について学び、門真市をより良いまちとするため、質問や提案などを考え、それを基に、2回の事前学習会において、さまざまな問題や課題について意見交換を行った上で、令和4年8月28日（日）に、市議会本会議場にて開催された『第10回門真市中学生議会 本会議』で発表しました。

本誌は、その記録をまとめたものです。

門真市中学生議会の開催にあたり、保護者をはじめ、学校関係者、市議会のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

## 門真市中学生議会議員名簿

学 校 名	氏 名	学 年
市立第二中学校	森 円花	2年
	山本 姫純	2年
市立第三中学校	榎本 朱桜	2年
	西牟田 夢月	2年
	山本 明日香	2年
市立第四中学校	松田 萌花	2年
	萬歳 姫乃	2年
	清水 新太	2年
市立第五中学校	平見 亜衣	3年
	国吉 蕾	3年
	坂本 桃叶	3年
	鳥山 凜音	3年
市立第七中学校	原田 琴音	3年
	原田 琴羽	2年
	片岡 堇	2年
市立門真はすはな中学校	齋藤 裕香	3年
	小野 柚奈	3年
	坂本 美由紀	2年

計 18 名

### 《 第 10 回中学生議会議長、副議長 》

	氏 名	学 校 名	学 年
議 長	小野 柚奈	市立門真はすはな中学校	3年
副 議 長	山本 姫純	市立第二中学校	3年

---

---

開 会

---

---

## 市長挨拶

皆様おはようございます。

『第10回門真市中学生議会』の開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日まで参加の18名の中学生の皆さんを始め、傍聴にお越しいただいている保護者の皆様におかれましては、平素より市政、とりわけ新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご理解、ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。また、日曜日の公私なにかとご多用の中、中学生議会にご参加賜り、重ねてお礼を申し上げます。



さて、現在新型コロナウイルス感染症は第7波を迎えておりますが、国内におきまして流行が始まったのは、令和2(2020)年からですので、中学生の皆さんは学校生活の大半がコロナ禍にあり、マスク越しでの交友関係や学習・クラブ活動等、コロナ前とは全く異なる環境に戸惑いながら過ごしてこられたことと思います。場合によっては、友人の素顔を全く知らないまま過ごしておられるのかなと推察する次第です。

本市といたしましては、ワクチン接種の実施や各種給付金の支給、新たな生活様式の普及促進等を通じ感染予防と社会経済活動の両立に努めており、さらに教育面におきましては、GIGAスクール構想における一人一台端末やAIドリル“キュービナ”等を導入し、コロナ禍においても学びを止めない学習環境の整備を進めてまいりました。

これらの取組みの実施におきましても、重要な役割を担ったのが議会であります。議会は、選挙で選ばれた市民の代表である市議会議員の方々と、私をはじめ市の幹部職員が質疑応答を重ね、教育をはじめとする門真市政全般にわたり、重要な案件を決定していく場であります。

さて皆さん、この議場は元々何だったか知っていますか。私自身、旧第六中学校出身で、まさしくこの議場は、当時は給食棟でありました。自分が中学生だった六中が市役所になっていて、当時の思い出と言えば、給食棟の前の所の廊下で、スリッパでよくピンポンをやっていました。それが今こんな形で庁舎であったり議場になったりと、感慨深げに思っているところです。

本日、皆さんは中学生議員として、事前の学習を通して、門真市と市議会の役割等を学習され、皆さんが住む門真市をよりよくするため、真剣に考えてこられたことをご質問していただき、それに対して私も誠心誠意御答弁いたしますのでどうかよろしくお願いいたします。

結びに、本日4年ぶりに開催となりました中学生議会が皆さんにとって有意義な経験となり、将来の糧となること、並びにご参集の皆様のご多幸ご健勝をお祈り申し上げます。私からの開会のご挨拶といたします。どうか一日よろしくお願いいたします。

## 市議会議長挨拶

皆さんおはようございます。

市議会議長の大倉基文でございます。門真市議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

第10回門真市中学生議会には、市内の中学生18名が中学生議員として参加され、また傍聴席には保護者の皆様や学校関係者の方々、ほか多数のご臨席をいただきまして、厳粛に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

さて中学生議員の皆さん、今、皆さんがおられる議場という場所は、普段は私たち市議会議員が市民の方々の代表として、質問や意見を述べる場所ですが、今日は皆さんが普段から関心のあることや疑問に感じていることなどを、リラックスして堂々と発表していただきたいと思います。また、大変貴重な機会ですので、市議会の仕組みや市役所の役割についても、大いに学んでいただきたいと思います。

結びに、皆さんが今後ますます元気で健やかに成長されますよう、お祈りいたしますとともに、ご臨席の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、開会に当たっての私からのご挨拶とさせていただきます。



## 中学生議会議長、副議長指名

### 司会

『門真市中学生議会』の議長、副議長をご紹介します。

なお、議長、副議長につきましては、事前に行いました学習会の際に立候補いただき決定しております。

議長を、門真市立門真はすはな中学校 小野 柚奈 議員、副議長を、門真市立 第二中学校 山本 姫純 議員にお願いいたします。

なお、本日の議事進行は、前半を小野議長に、後半を山本副議長にお願いしたく存じます。それでは、よろしくお願い致します。



### 小野 議長

ただいまから、『第 10 回 門真市中学生議会』を開会いたします。

私は、門真市中学生議会の議長に選出いただきました、門真市立門真はすはな中学校 3 年の小野柚奈です。

中学生議会の円滑な議事進行に、皆様のご協力をお願いいたします。

私たち、中学生 議員 18 名は、今回、市をよくするための 5 つの分野について、学校別に学習し、疑問に思うこと、提案したいことなどをまとめてまいりました。

『住み続けたいまち・門真』にするためにはどのようにすれば良いのか、一生懸命考えてまいりましたので、お聞きいただきますようお願いいたします。

それでは、これより中学生 議員による質問を行います。初めに、第二中学校の皆さんを指名いたします。



## 第二中学校 【質問】

### ～質問テーマ～

- (1) 情報発信の手法について
- (2) 授業の進め方について

門真市立第二中学校です。

私は、2年の 森 円花 です。

2年の 山本 姫純 です。

よろしくお願いします。



### 1 情報発信の手法について

門真市は SNS を使って門真の魅力を発信しています。

しかし、中学生はそのことをあまり知っていません。

中学生が知れば親にも伝わって、どんどん広がっていくと思います。

そこで、手紙などで知らせるのではなく、学校の放送やクロームブック、Instagramを使って宣伝してみてもどうでしょうか。

また、発信の内容は若い人に見てもらえる内容にした方がいいと思います。

例えば、門真市のイメージキャラクター、元祖招き猫ガラスケをお願いして、可愛い動画などを撮ってみたりすると、若い人に見てもらえると思います。

若い人に見てもらえば、門真を知ってくれる人や、門真に来てくれる人が増えて街おこしができると思います。

そこで質問します。

中学生に、門真市に対して興味を持ってもらうために、このような動画を使った情報発信も良いことではないかと思うのですが、門真市のお考えをお聞かせください。

### 2 授業の進め方について

次に、2つ目のテーマは、「授業の進め方について」です。

人によって、深く理解できる方法や分かりやすい方法など、理解しやすい方法には違いがあります。

全員に対して同じ授業の方法をしていては、理解しにくい人が出てきます。  
私たちの第二中学校の数学では、「自由進度学習」という進め方で授業をやってい  
ます。

私は、この授業の進め方は、生徒に寄り沿った進め方であると考えていて、私も、  
この授業の進め方になって、数学の授業が少し楽しくなっています。

次に、第二中学校の「自由進度学習」について少し説明します。

授業では、「課題を自主的に進めているクラス」と「講義型クラス」に別れています。

1つ目のクラスは、先生が主体的に授業を進めるのではなく、生徒が主体的にやら  
なければならぬ課題を見つけ、出された課題を一人ひとりが自分のペースで進める  
ことのできる授業の進め方です。

2つ目のクラスは、内容は一緒なのですが、生徒が質問した内容に対して先生が説  
明をしながら授業をすすめます。

質問した時にクラス全体でその質問について考えたり解いたりします。クラス全体  
で授業をつくっていく授業の進め方です。

ただ、「自由進度学習」について、意見が別れることもあります。

例えば、生徒の中にも、1人ひとりに合った学習ができていて良いと思っている人  
がいる一方で、2つの授業の違いがよく分からないという人がいたりもします。

また、私たちの保護者は、講義型の授業を受けていたので、この授業の進め方につ  
いて不安に思う人もいると聞いています。

しかし、私は、「その单元ごとに得意不得意があるので、授業スピードが選べて、友  
だちと楽しく学習が出来るので、とても良い。」という前向きな意見もあるので、この  
「自由進度学習」が広まれば良いなと思っています。

この自由進度学習の授業を行うために、先生方は、ICT 機器を上手く活用したり、  
2人の先生で常に相談したりして授業を考えてくれています。

自由進度学習を行うためには、プロジェクターやPCなどのICT環境、1回の授業  
に数学教員2人以上、AIドリルなど、必要なものが幾つかありますので自由進度学習  
をひろげるためにも必要な設備を市内の中学校にそろえてほしいと考えています。

門真市立第二中学校からは、以上です。

ご検討の程、よろしくお願いいたします。

小野 議長

これより、理事者の答弁を求めます。

## 第二中学校質問について【答弁】

### 宮本市長

門真市立第二中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。  
情報発信の手法についてであります。

動画を使った情報発信の現状につきましては、門真市公式 YouTube チャンネルにおいて、多くの市民が出演する門真市 PR 動画「門真 Runner」を令和元年に公開したことをはじめ、令和2年に認知症地域支援推進員等による「認知症予防クイズ」、令和3年に歴史資料館の学芸員による歴史を紹介する「門真歴史探訪」など、適宜、動画を公開しているところであります。

直近では、令和4年5月に龍谷大学の学生が「門真市 PR 動画」を6本制作し、その第一弾として「ガラスケの紹介動画」をアップし、他5本についても順次公開したところです。

また、Instagramは、若い世代が主に使っている SNS であることから、民間複業アドバイザーからの助言を踏まえつつ、開設に向けて準備を進めております。

ご提案の、校内放送や一人一台端末を市の情報発信のツールとして活用し、生徒に直接お知らせする手法につきましては、関係課等と連携するなど検討してまいりたいと考えております。

インターネット環境の変化により、若い世代の主な情報収集の手段が動画に移行する中で、門真市の認知度や好感度の向上において、ガラスケを登用した動画等による情報の発信は、効果的な広報活動であると認識しております。

引き続き、市民や大学、企業、団体等と連携のもと、若い世代をはじめ、多くの世代に広く本市の魅力や情報を身近に感じていただけるよう努めてまいります。

次に、授業の進め方についてであります。

第二中学校の2年生の数学においては、昨年度から「自由進度学習」という授業の進め方を実施していることは承知しております。



「自由進度学習」は、生徒自ら単元における学習目標を把握し、学習目標を達成するための学習方法を一人ひとりが考えて、授業をすすめていく形をとることで、数学の力だけでなく、計画的に課題に取り組む力等を育むことにもつながると聞いております。

今年度、「自由進度学習」は他校にも広がっていると聞いております。

皆様のご質問にもありましたように、数学が楽しくなったという声は嬉しく思いますが、一方で従来の講義型クラスの授業スタイルとどちらがよいかかわからないと考えている生徒もいる実情からすると、「自由進度学習」のような授業スタイルについては、子どもたちの個々の状況や教科等に応じて、今後研究をすすめていく必要があると考えております。

今後も教育委員会と学校が連携を一層強め、皆さん一人ひとりが自分に合った方法で不安なく学べ、学力向上につながる授業改善の取組をすすめてまいります。

また、授業改善の取組を進めていく上で必要な設備や人的配置についても、できる限り改善できるよう努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

小野 議長

これで、第二中学校の質問を終わります。

続きまして、第三中学校の皆さんを指名いたします。

## 第三中学校【質問】

### ～質問テーマ～

- (1) 人口の減少を防ぐための学力向上策としての読書活動について
- (2) 道路や公園のごみのポイ捨てについて

門真市立第三中学校です。

私は、2年の 山本 明日香 です。

2年の 榎本 朱桜 です。

2年の 西牟田 夢月 です。

よろしくお願いします。



### 1

#### 人口の減少を防ぐための学力向上策としての読書活動について

この数年、門真では人口が減り続けているという現状があります。

様々な理由が考えられますが、その理由の一つとして、他と比べて門真の学力が低く感じられることが原因となっているのではないかと、私たちは考えました。

そこで学力を向上させる手立てとして、まず1つ目に、私たちの学習環境の充実が挙げられます。

学校以外の場所に自習室や学習スペースがあればいいと思い調べたところ、市内には市民プラザ内の生涯学習センターや青少年活動センター、南部市民センターにそれぞれ自習室や学習スペースがあって、公民館では利用していない諸室を学習スペースとして放課後や休日にも開放されていることを知りました。

次に学習活動の一つとして、読書活動に注目しました。

小学校や中学校では読書週間や読書月間を設け、本に触れる機会が多くありますが、日常生活の中でみんながたくさん本を読んでいるかというと、そうとは言えません。

なぜかというと、幼い頃から本を読むことや文章を読むことにあまり慣れ親しんでいないことが、私たちの中の理由としてあげられました。

小学校に入学するまでの間、本を読んだことがないという仲間もいました。

学校で初めて図書館という場所に行ったという人もいます。

幼い頃から本に慣れ親しみ、読書の楽しさを知るといいうことは、読書活動にはとても大切なことです。

門真市には、市立図書館や、市民プラザの分館がありますが、私たち三中の生徒の中にも、個人的に図書館を訪れたことがない人がたくさんいます。

それは、市立図書館や市民プラザの分館を訪れにくいことが原因となっているのではないかと考えました。

例えば、車で行くにも駐車場が少ない、交通の便が悪い、単純に距離が遠い、などが図書館を訪れにくくしている理由ではないかと思いました。

私たち中学生でも市立図書館へ行くのに「遠いから面倒だなあ」と思います。

なので、幼い子どもを連れて図書館に行くのは、とても難しいのではないのでしょうか。

私たちは、幼い頃からもっと本に触れて、本の楽しさを知ってもらいたいと思っています。

本に触れることで、たくさんの言葉を知り、文章の読解力や、様々な視点から考える思考力がついていくと思うからです。

そこで、気軽に図書館を訪れることが難しいのであれば、もっと身近で本に触れる機会を得るために、市内のさまざまな場所で絵本の読み聞かせ会を開くことを考えました。そのことについて、3つの提案をしたいと思います。

まず、読み聞かせ会を開くための場所についてです。

図書館に行くことが難しいのであれば、小学校や中学校、地域の様々な施設を利用すれば、参加しやすくなると思います。

そこで、読み聞かせ会の開催場所として、小学校や中学校、市の施設をもっと手軽に利用できないかと考えました。

次に、学校の絵本の冊数についてです。

小学校や中学校の学校図書館には、私たちの学習活動のためのたくさんの本を購入してもらっていますが、絵本はとても少ないです。

私たちが図書委員会活動や生徒会活動、ボランティア活動などで読み聞かせ会を行うためにも、たくさんの絵本を学校に入れてほしいです。

なので、絵本を買うための予算を増やしてほしいと思います。

3つめに、読み聞かせ会をたくさんの市民のみなさんに知ってもらうことです。地域でたくさん実施をしても、知られていなかったら行くことができません。なので、読み聞かせ会の宣伝の協力をたくさんしてほしいと思います。

## 2 道路や公園のごみのポイ捨てについて

次に、まちづくりの中で「美しい街づくり」特にごみのポイ捨てについて質問いたします。

門真市では、道路にごみが散乱しているのをよく目にします。  
買い物や家族旅行などで他のまちに行く時がありますが、門真市のほうがごみのポイ捨てなどが多いと感じられます。

また、公園でごみ箱が設置されていてもポイ捨てがされており、ごみが散乱しているように感じられます。

そこで、道路や公園にごみを捨てたくなるようなごみ箱を設置することはできますか。

また、ポイ捨てをする人は、何も考えずに捨てている人が多いと思いますので、少しでもポイ捨てが無くなるようプレートを設置して啓発することはできますか。

この2点について市の見解をお聞かせください。

次に、これは要望ですが、まちの清掃活動を行っている自治会や学校などがあるとお聞きしました。

これらの活動に少しでも多くの市民が参加できるようサポートをしていただきたいです。

清掃活動に参加することにより参加者自身がポイ捨てをしないという自己啓発にも繋がると思いますのでよろしくお願いします。

これらの提案について、市としてどのようにお考えか、お聞かせください。

門真市立第三中学校からは、以上です。

ご回答、よろしくお願いします。

小野 議長

これより、理事者の答弁を求めます。

### 第三中学校の質問について【答弁】

**宮本市長**

門真市立第三中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。  
人口の減少を防ぐための学力向上策としての読書活動についてであります。

現在、古川橋駅前の旧第一中学校の跡地におきまして、本市における「まちの顔づくり」という観点から、新たな図書館と文化会館機能を有した生涯学習複合施設の建設を計画し、門真市民にとって全国に自慢することができる魅力的な施設整備に取り組んでおり、これまで図書館を訪れたことがない子どもたちにとっても身近な施設に

なると考えております。

また、子どもたちに本に親しんでいただける取組として、北部・南部の2館の図書館が連携しつつ、市全体のエリアをカバーし、出張読み聞かせなどアウトリーチ活動にも努めてまいりたいと考えております。

次に、読み聞かせ会を開くための場所についてであります。  
現在、読み聞かせは、市立図書館をはじめ、乳幼児向けに、女性サポートステーション WESS や保育園等で実施されており、乳児の4か月健康診査時には親子に絵本をプレゼントし、絵本の読み聞かせを通して親子が触れ合うことの大切さを伝えております。

小学校や中学校を利用する場合は、放課後や休日に一般市民が校舎内へ立ち入ることは防犯上の観点から制限がありますが、学校以外の公民館、中塚荘、保健福祉センター、南部市民センター等の公共施設についても利用することができます。

図書委員会活動や生徒会活動の一環として、皆さんが読み聞かせ会を企画される際には、教育委員会を通じて各施設管理者にご相談いただければ開催に向けた支援をしてまいります。

次に、学校図書館への絵本の冊数を増やすことについてであります。

絵本購入のための予算確保につきましては、学校図書館の図書費の絵本に対する配分増を検討してまいります。読み聞かせ用の絵本は、市立図書館でも多数、所蔵していることから、豊富な絵本の蔵書を小中学校でも効果的に活用できるよう、学校貸出しを進めてまいります。

次に、読み聞かせ会の宣伝協力についてであります。

市民の皆様への周知につきましては、広報かどまや門真市ホームページの活用、また公共施設においてチラシやポスターの掲示が可能です。また、学校にもお知らせを配布することもできます。

皆さんのご提案のような読書活動が広がることで、子どもたちの学力の向上にもつながり、門真に魅力を感じてもらえる人も増えていくと思いますので、ぜひ皆さんのご提案の読み聞かせ会の実現を期待しております。

次に、道路や公園のごみのポイ捨てについてであります。

ご指摘のとおり、現在、市内の道路や公園では、ごみのポイ捨てによる環境悪化が見受けられます。

ご提案の道路や公園にごみ箱を設置することにつきましては、道路においては、歩行者や自転車、車いす等の通行の妨げになることから設置しておらず、また公園においては、家庭ごみを捨てたり、不法投棄が多く見受けられたことから、やむを得ずごみ箱を撤去した経緯があります。

そのようなことから、現在では、ごみ箱を新たに設置しない方針であり、別の方法としてご提案がありました「ポイ捨て禁止」の啓発プレートを設置するとともに、直近2年間は新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、すべての公園において草刈りに併せて清掃も行うなどの対策に取り組んでおります。道路や公園の美化は、市民の皆様の協力なしでは維持していくことはできません。

今後におきましても、道路や公園を快適に利用できるよう、市民の皆様により一層のご理解を賜り、ご協力いただけるよう努めてまいりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

小野 議長

これで、第三中学校の質問を終わります。  
続きまして、第四中学校の皆さんを指名いたします。

## 第四中学校【質問】

### ～質問テーマ～

- (1) 歩道や道路の整備について
- (2) 公園の治安悪化について
- (3) 公園でボール遊びができる環境づくりについて
- (4) 水路の水質改善について

門真市立 第四中学校 です。

私は、2年の 松田 萌花 です。  
2年の 萬歳 姫乃 です。  
2年の 清水 新太 です。

よろしくお願いします。



1

### 歩道や道路の整備について

私達は、まちづくりをテーマに話し合いました。

私達の住んでいる地域にある小中学校に通う児童が安心して通学できるように、また、楽しく遊べるように門真市ではどのような取り組みが行われているのか、また、どのようなことをしていくべきなのかということについて、意見を出し合いました。その中で、主に4つの意見が出ました。

まず1点目は、歩道や道路の整備について、2点目は、公園の治安悪化について、3点目は公園でボール遊びができる環境づくりについて、4点目は水路の水質改善についてです。

まず、歩道や道路の整備についてです。

一つ目の問題点として、信号機の青信号の時間が短く、お年寄りや子供などが渡りきることが困難で困っている様子が見受けられます。

歩行者用灯器の青信号の時間を長くすることや、車両用灯器の時間を短くすることを検討することは可能でしょうか。

二つ目は、歩行者用灯器が無く、歩行者が車両用灯器に気が付かないまま通行し、車両と接触しそうになっている様子が見受けられます。

学校に通う生徒達が安心して通うことができるように、歩行者用灯器の設置につい

て検討することは可能でしょうか。

三つ目は、歩道が狭くすれ違ふときに、車道にはみ出して通行するところや、電柱などがあり、通行しづらいところがあります。

安全に歩道を通行できるように、歩道の拡幅やグリーンベルトを設けるなど、少しずつでも改善に取り組んでいただけることを要望いたします。

## 2 公園の治安悪化について

次に、公園の治安悪化についてです。

学校の周辺の公園では、遊具への落書きがひどく、またその落書きがそのままにされているため、ますます増えていっているように思います。

公園では小さい子供もよく遊んだりしているので、その子たちに悪影響を及ぼさないかと心配です。

また、未成年者の喫煙も見受けられ、これらが犯罪の温床になる危険性があります。

このような環境改善のために、ポスターなどを作成して、新たに落書きがされないよう公園利用者に呼びかけることや、地域のボランティアの方々の協力を得て見回りをするなどの対策をとることを提案します。

## 3 公園でボール遊びができる環境づくりについて

次に、公園でボール遊びができる環境づくりについてであります。

小学校のときからボールを使って遊べる公園が少なく、ボールで遊ぶ機会がなかったため、現在、学校では思うようにボールを使えない人が少なくないように思います。

この問題を解決するために、公園内でボール遊びができるエリアを作ることなどの改善をすることは可能でしょうか。

## 4 水路の水質改善について

次に、学校付近の水路の水質改善についてです。

校区内の小学校付近の水路などでは、ごみが捨てられ、水が汚れていて悪臭を感じる時があり、小学生が気持ちよく学校に通えないということがあります。

また、今では沢山の方々が訪れる桜で有名な砂子水路でも水質の悪化が見受けられ

ます。

これらの水路の水質の改善や水質の維持管理を徹底していただき、砂子水路の桜の美しさを活かし、昔のきれいなまちの景観をとりもどせるよう要望いたします。

最後に、全体を通して、私たちにも門真市民としてできる取り組みがあれば、ぜひお教えしていただきたいです。

門真市立第四中学校からは、以上です。  
ご回答をよろしくお願いいたします。

小野 議長

これより、理事者の答弁を求めます。

#### 第四中学校の質問について【答弁】

**宮本市長**

門真市立第四中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、交差点の青信号の点灯時間が短いことについてであります。

歩行者が横断に必要な時間は、横断歩道の距離によって異なるため、交通量が少なくても、横断歩道が長い場合は、歩行者用の青信号点灯時間を長く表示する必要があります。

逆に歩行者用の青信号点灯時間が長すぎると、右・左折車が交差点に滞留し、渋滞の原因となるため、これら全ての条件を考慮し、歩行者用の青信号点灯時間が決定されております。

信号機の点灯周期や設置については、当該地域管轄の門真警察署を通じて、大阪府公安委員会が横断歩行者数や交通量等を総合的に判断し、決定していますので、お示しの歩行者用の青信号点灯時間が短すぎて歩行者が渡りきれないといった個別箇所につきましては、今後、門真警察署と連携し検証して参りたいと考えております。

次に、歩行者用灯器の設置についてであります。

車両用灯器を設置する場合は、合せて歩行者用灯器を設置することが原則となっておりますが、歩道が整備されていない道路では、歩行者用灯器が無い場合があります。

これは、信号を待つスペースがないこと、信号柱が歩行者の通行の妨げになること、

信号柱と車両の接触の恐れを考慮しているためであります。

今後、道路環境の変化により歩行者用灯器の設置が可能となるところにつきましては、門真警察署と協議して参りたいと考えております。

次に、歩道が狭く通行が困難なところについてであります。

本市では特に通学路の安全確保に向けた取組として、大阪府、門真警察署、教育委員会などの関係機関と合同で交通安全点検を実施しており「子供の移動経路における交通安全の確保に向けた効果的かつ効率的な取組の推進計画」を策定し、安全対策を講じることで児童・生徒の通学路の安全性の向上を図っております。

歩道を拡幅することは、歩行者等の安全対策として有効であると認識しており、順次進めておりますが、多くの時間と費用を要するため、即効性のある手段の一つとして、グリーンベルトやカラー舗装による安全対策にも取り組んでおります。

次に、公園の治安悪化についてであります。

まず、公園の治安であります。これまでも樹木剪定や古木の伐採により見通しを良くすることで、落書き等の抑止に努めております。

ご提案の公園内にポスター等を設置して注意啓発を行うことや、地域での自主的な防犯パトロールの実施は、重要な対策として認識しております。

更に、必要に応じて警察等と連携し公園に滞在する人への声掛け等の活動を強化してまいります。

今後におきましてもさまざまな防犯対策に取り組み、誰もが「安全・安心に利用できる公園」をめざしてまいります。

次に、公園でボール遊びができる環境づくりについてであります。

市内の一部の公園では、小学生が野球やサッカーができますが、多くの公園では自由にボールを使用して遊ぶことができません。

ご要望のボール遊びができる公園づくりにつきましては、公園は、幼児から大人まで安全・安心に過ごせる空間となるように、現在、パークイノベーション計画の策定の中で、比較的大きな公園などにおける広場の確保を図るとともに、使用方法やルールづくりについて地域の皆さまや関係機関などと連携し、具体的な方策の検討をしていく予定としております。

次に、水路の水質改善についてであります。

本市の河川や水路は、昭和 20 年代頃までは、様々な生き物がすみ、泳げるほどき

れいであったと聞き及んでおります。

しかし、昭和 40 年頃からの高度経済成長期に、生活排水や工場排水が河川や水路に流れ込み、水質が悪化し、悪臭が発生するようになりました。

その後、公共下水道の着実な整備などにより、現在では、随分と水質が改善してきているところでもあります。

ご指摘の校区内の水路などの水質を良くし、砂子水路の桜の美しさをアピールできるようにしていくには、生活排水の公共下水道への接続や水路にゴミなどを捨てないことが重要であります。

今後も、これらのことについて啓発を行うなど、より一層水路の水質及び景観の改善に努めてまいります。

最後に、皆さんもぜひ、今できる範囲のなかで、門真市をよくするために、学校や地域等で清掃活動等に取り組んでいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

小野 議長

これで、第四中学校の質問を終わります。



## 山本副議長

私は、門真市立 第二中学校の2年の山本姫純です。

議長に代わりまして、議事進行してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、第五中学校の皆さんを指名いたします。



## 第五中学校【質問】

### ～質問テーマ～

- (1) 学校体育館へのクーラー設置について
- (2) 点字の活用について

私は、3年の 平見 亜衣 です。  
3年の 国吉 蕾 です。  
3年の 坂本 桃叶 です。  
3年の 鳥山 凜音 です。

よろしくお願いします。



### 1 学校体育館へのクーラー設置について

門真市立第五中学校では、学級代表、各専門委員会代表と私たち執行委員会で構成される学校議会で、学校生活をより過ごしやすく、また、地域生活をよりよくするための話し合いをしています。

その話し合いの中で、体育館へのクーラー設置、地域社会への点字の増加をしたら良いのではないかという意見が多く出されました。

そこで、私たちは、教育と福祉の2点についてご提案させていただきます。

まず初めに、教育についてです。

私たちが通う第五中学校では体育の授業や部活動で、体育館を使用する機会が多くあります。

今の体育館は、室内の温度を調整するものがないので、運動する人の熱気が体育館にこもって温度や湿度が上昇し、蒸し暑い状況です。

また、今世界では地球温暖化が進み、年々、気温が上がっています。このような状況で問題になっているのが熱中症です。

近年では熱中症で死亡する事例が多く報告されています。熱中症を防ぐためには、運動に適した環境をつくる必要があると思います。

熱中症の対策として最善な方法が体育館にクーラーを設置することだと考えました。

私たちの学校では、体育の授業での運動の際はマスクを外すように呼びかけられています。

しかし、人が集まる場面ではマスク着用となっており、とても息苦しく感じています。

また、今の体育館は湿気がひどく、運動する人たちの汗で床が濡れて滑りやすく危険だと思われます。

クーラーを設置し運動に適した温度に保つことで、暑さ対策が可能となり、熱中症リスクを抑えることができます。

また、体育館の床は濡れにくくなり、滑って怪我をする危険も抑えることができます。

そして、体育の授業や部活動で生徒たちのやる気が高まり、今まで以上に頑張ることができるようでしょう。

私たちが体育館にクーラーの設置を提案したのには、もう一つ理由があります。それは、体育館が災害時の避難場所として利用されることです。

災害時、体育館をたくさんの地域の方々が避難場所として利用する際に、クーラーがなく蒸し暑い中では過ごしにくいと思います。

災害で苦しむ人たちにつらい思いをさせてしまうことになると思います。

今、南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくないと言われています。

つまり、いつ避難場所で生活することになるか分からない状況です。避難場所ですら思いをしないために、体育館にクーラーを設置したいと思いました。

しかし、クーラーを設置するにはデメリットもあります。

クーラーの設置費用と設置後の電気代等で、それぞれ莫大なお金が必要となります。

また、設置工事の期間中、体育館は使用禁止もしくは使用を制限されることとなります。

こういったデメリットはありますが、それ以上のメリットがあります。  
容易ではないことは承知しておりますが、私たちは体育館にクーラーを設置する必要性は十分にあると考えております。

改めまして、熱中症対策、生徒のやる気向上、避難場所の環境管理などのため、門真市の中学校の体育館にクーラーを設置して頂きますよう提案いたします。

## 2 点字の活用について

次に、福祉についてです。

世の中には目の不自由な方がたくさんいます。  
現代社会では、目の不自由な方たちへの配慮としてバリアフリーが様々な場面で利用されています。

例えば、駅のホームに必ずある点字ブロック、音がなる音響式信号機などがあります。その中でも今回、私たちが提案するのは「点字」についてです。

点字とは、目の不自由な方が指で触って読めるようにした、一種の文字で、エレベーターの階数ボタンや身近なところではシャンプーなどに利用されています。

しかしながら、私たちが気になったのが、飲食店やスーパー、その他のお店で、点字を利用している店舗が少ないという点です。

実際のところ、目の不自由な方はどのようにして、飲食店やスーパーを利用されているのでしょうか。

大変困っておられると思います。

そのことを考えると、障がい者の方に対する配慮がもっと必要だと思います。

そこで私達は、飲食店やスーパーなどが積極的に点字などのバリアフリーを活用してほしいと考えました。

点字などを取り入れた店舗が増えることで、目の不自由な方々が抵抗なくひとりでも自然にお店を利用できると思います。

しかし、点字を利用するにはお店側が点字について理解されている必要があります。

そんな問題を解決すべく提案をしたいのは、点字の啓発や普及と音声(アナウンス)の活用です。

具体的には、簡単な点字の仕組みや点字の一覧表をまとめたパンフレットを作成することと音声の活用です。

点字を打つには、それ専用の機械が必要です。

その機械を使い、点字を打つとそれ相応のお金が必要となってきますので、スーパーなどの商品数が多い店舗では点字の利用は難しいと思います。

そのため、商品数がスーパーなどと比べて少ない飲食店に点字を試してみるといいと思います。

飲食店のメニューを点字付きのものにするのです。

また、スーパーなどの店舗では、点字の代わりに店内アナウンス等の音声を活用してみてもいかがでしょうか。

アナウンスであれば、お金もあまりかからず、お店側の方も簡単に実施できると思います。

聞き流してしまう可能性もあると思いますが、点字より簡単に実施できるのであれば、実施してみてもいいと思います。

それぞれの方法にはもちろんメリットとデメリットがありますが、それぞれの方法にあった環境を考え、店舗によって利用する方法をどうするか工夫することが大切です。

目の不自由な方が暮らしやすい社会をつくるために、このような提案を実現していただけないか。

門真市立第五中学校からは、以上です。

ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

### 山本副議長

これより、理事者の答弁を求めます。

### 第五中学校の質問について【答弁】

#### 宮本市長

門真市立第五中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、学校体育館へのクーラー設置についてであります。

学校体育館へのクーラー設置につきましては、学校活動における熱中症リスクの低減をはじめ、避難所の環境改善などに一定の効果があることは認識しております。

このことから、令和3年度において市内小中学校の体育館に空調設備を設置する検討を行った際には、第五中学校体育館も候補の1つとなったところです。

しかしながら、体育館という大規模空間において冷房効率を確保するためには、建物自体の断熱化が求められ、それには空調設備設置費に加えて多額の改修費用が必要となることから、建物自体が新しく、断熱性が高い門真はすはな中学校の体育館にエアコンを先行して設置したところであります。

その他の学校体育館につきましても、従来から設置しております大型扇風機に加え、令和2年度より各校に対しスポットクーラーを配置いたしました。

皆さんご指摘のとおり、昨今の地球温暖化による気温上昇の中での活動場所、また、南海トラフ地震の発生確率が高まる中での避難場所として、体育館への空調設置の重要性はますます高まっていくことは理解しております。

しかしながら、建築後40年以上が経過し、かつ、大規模に改修を行えていない学校が多数ある中、建物をはじめ施設設備の老朽化が急速に進行している現状を踏まえ、まずは、皆さんがより安全に安心して学校生活を送ることができるよう、建物を含む施設設備の改修等を進めていくことも重要と考えております。

今後におきましては、今申し上げました学校施設の老朽化対策を目的とした改修を進めていく中で、費用面をはじめ、より効率的な空調の設置手法も併せて検討してまいりたいと考えております。

次に、飲食店やスーパーなどでの点字の活用についてであります。

目の不自由な方が買い物などで外出される場合は、ヘルパーの同行援護という障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスがあり、買い物、外食、イベントなどで外出される場合には、目の不自由な方の個々に寄り添った支援を行っているところです。

ご指摘のとおり、多くの商品が並ぶスーパー等での点字の利用は課題が多く、また、現在のコロナ禍においては商品等に直接接触することによる感染のリスクも懸念されます。

そのため、接触を減らした情報伝達の工夫や、音声アナウンスの活用、周囲の方からの声掛けなど、目の不自由な方々への支援について、理解を深めていただくことが必要となります。

門真市では、様々な障がいのある方などへの理解啓発として、毎年12月の障がい者週間に合わせ、当事者や関係団体等と共にキャンペーンを実施し、市役所、南部市民センター、イオン古川橋駅前店などに障がい者への理解啓発や合理的配慮に関するチラシの配架及び障がいのある方が作成した自主製品の展示などを行い、あわせて、

市の広報やホームページにおいても、障がいの種別に応じた支援方法等について周知をいたしております。

ご提案いただいた点字や音声アナウンスの活用につきましては、目の不自由な方など当事者のご意見も踏まえ、市民の皆さまや飲食店等へ、更なる理解啓発を働きかけてまいります。

今後も必要な方が障がい福祉サービスを受けることができるよう、制度の周知等に努めるとともに、地域の皆さまに障がいのある人の理解を深め、可能な配慮をしていただけるよう、引き続き理解啓発の取組を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

山本副議長

以上を持ちまして、第五中学校の質問を終了いたします。

続きまして、第七中学校の皆さんを指名いたします。

## 第七中学校の質問について【質問】

### ～質問テーマ～

- (1) 楽しく過ごせる学校生活について
- (2) ムクドリの被害について

門真市立第七中学校です。

私は、3年の 原田 琴音 です。  
2年の 原田 琴羽 です。  
2年の 片岡 堇 です。

よろしくお願いします。



### 1 楽しく過ごせる学校生活について

みんなが楽しく学校生活を送るためには、日々をなんとなく楽しむだけではなく、自分の将来のためにも、勉強が得意、好きになればもっといいと思いました。

昨年度はたくさんの大学生のボランティアの方が来てくれて、わからないことをその場で教えてくれていました。

そのことで授業がわかり、授業が分かると楽しいと思えました。

今年度はあまり学生ボランティアがおらず、昨年度との違いを感じました。

学習のサポートをしてくれる人がたくさんいれば、楽しい学校生活を送れるのではないかと考えました。

学校生活のほとんどの時間は授業です。

その授業に学生ボランティアがいてくれると、質問がしやすく、早く理解することができます。

それにより、授業がスムーズに進みます。

授業がスムーズに進むと、時間に余裕ができ、その時間で復習や予習などができ、理解が深まります。

それがテストの結果に結びつくようになり、勉強が楽しいと思えるようになると、学校に行くこと自体がさらに楽しいと思えるようになると思います。

昨年度、七中には7人の学生ボランティアが来てくれていました。  
学生ボランティアは授業をする先生のお手伝いや、私たちに色々なアドバイスをしてくださいました。

また、理科や家庭科など実習の授業では、より安全に授業が行えていたと思います。

七中は他の学校よりボランティアの人数が多いと聞きました。

七中でちょうどいい感じだと思っていたので、他の学校の生徒は中々、質問もできず、先生方は大変で忙しいのではないかと聞きました。

そこでお伺いします。

私たちが質問しやすい環境、楽しい授業づくりのためにも、大学生のボランティアなど、学校で学習のサポートをしてくれる人材を増やしてもらうことはできますか。

## 2 ムクドリの被害について

次に、最近テレビでもよく取り上げられています、ムクドリの被害についてお聞きします。

門真市でも町中でたくさんのムクドリが街路樹にとまっているのをよく見かけます。例えば、京阪電車古川橋駅周辺の街路樹には、夕方になるとたくさんのムクドリがとまり一斉に鳴くので、とてもうるさい状態です。

その周辺の塾に通っている人たちの間では、鳴き声がうるさくて勉強に集中できないという声や、近所に住む住民の人たちもうるさすぎて眠れないなどの被害にあっていると聞いています。

また、ムクドリは騒音だけではなく、街路樹に数えきれないくらいたくさんとまっていることもあり、その街路樹の下には地面の色が変わるくらいの糞が落ちていて、街の景観的に見た目も悪く、悪臭もします。

そして乾燥して舞い上がった粉塵を吸い込むと、私たちの健康が損なわれてしまう可能性があります。

古川橋駅周辺は、門真運転免許試験場、イオンなどがあり、市外からもたくさんの人々が訪れる場所となっています。

これらを踏まえ、ムクドリの被害を無くすための対策について、街路樹の剪定など必要と思いますが、市はどのように考えているか、お聞かせください。

門真市立第七中学校からは、以上です。

ご検討のほど、よろしくお願いたします。

これより、理事者の答弁を求めます。

### 第七中学校の質問について【答弁】

#### 宮本市長

門真市立第七中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。  
楽しく過ごせる学校生活についてであります。

本市におきましては、現在、門真市と教育連携を締結している大学を中心としたインターンシップ制度を活用したり、各学校が関係のある大学生に声をかけて学生ボランティアを募集するなどして、各学校で大学生が学習の補助等を行い、学びのサポートを行っております。しかしながらコロナ禍におきましては、その機会が減少していることも事実です。

皆様のご意見にもあるように、授業において皆さんが「わかる」「できる」と感じられ、学校生活が充実したものになるということはとても大切なことであり、学生ボランティア等の大学生との出会いが、学習効果の向上だけではなく、皆さんにとっても将来を考える上で大変意義があると考えております。

今後も教育連携を締結している大学だけではなく、それ以外の大学へも積極的に学生ボランティアの募集をすすめてまいりたいと考えております。

次に、ムクドリ被害を無くすための対策についてであります。

まず、ムクドリ被害につきましては、ご指摘のとおり、毎年6月頃から11月にかけて、京阪古川橋駅周辺の街路樹にムクドリが飛来してくるため、付近住民から鳴き声や糞害による生活環境悪化の苦情が市に寄せられております。

この様な状況は、門真市だけに留まらず全国的に散見され、各自治体で様々な対策を実施されております。

本市ではこれまで約20年間に渡り、光を反射するCDの設置や嫌がる音声を拡声器で流したり、枝にとまりにくくするように樹木をネットで覆うなど、様々な対策を実施してまいりました。

しかしながら一定期間効果があるものの、時間の経過とともに、次第に元の状態になることを繰り返してきました。

現在の取り組みにつきましては、毎年、街路樹の剪定や週3回程度、糞の清掃を行っております。

また、令和元年からムクドリが多く飛来する古川橋駅北側ロータリー及び南側ルミエールホール周辺において延べ10回、ムクドリの天敵である鷹を鷹匠により放鳥し、追い払いを実施しています。

結果ムクドリの飛来数及び付近住民からの苦情が減少してきております。

今後におきましても毎年継続的に実施することが効果的であるため、街路樹の剪定等の対策を引き続き実施してまいるとともに、他市の駆除方法も参考にしながら、少しでも被害が抑えられるよう努めて参りますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

山本副議長

以上を持ちまして、第七中学校の質問を終了いたします。

続きまして、門真はすはな中学校の皆さんを指名いたします。

## 門真はすはな中学校の質問について【質問】

### ～質問テーマ～

- (1) ICTの活用について
  - (1) マイナンバーカードを活用した行政手続きについて
  - (2) 情報セキュリティ対策について
  
- (2) ごみ問題について
  - (1) 市が行っている地域のごみを減らすための活動について
  - (2) 地域住民のごみに対する意識を変えるための取り組みについて

門真市立門真はすはな中学校です。

私は、3年の 齋藤 裕香 です。  
3年の 小野 柚奈 です。  
2年の 坂本 美由紀 です。

よろしくお願いします。



### 1 ICTの活用について

私たち門真はすはな中学校は、ICTの活用について話し合いました。

現在、学校にクラウドブックや電子教科書、電子黒板などのICT機器が導入されるなど、身の回りでデジタル化が進んでいますが、市役所における、デジタル化の取組がどのように行われているか、また、どんなことをしていくべきなのかということについて、意見を出し合いました。

これから、みんなで話し合った考えと、質問を行いたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

『マイナンバーカードを活用した行政手続きについて』、おうかがいします。

テレビやネットのニュースで、マイナンバーカードを健康保険証や免許証として使えることを知り、驚きました。

また、学校の先生に聞いてみると、本人確認書類として利用できたり、行政手続を

オンラインでできるという理由で、マイナンバーカードを作る人が多いということも知りました。

そこで、行政のオンライン手続きをはじめ、マイナンバーカードを活用した市民サービスについて、門真市ではどのような取組をしているのか、また今後どのような取組をおこなっていくのか、お聞かせください。

次に、「情報セキュリティ対策」について、お聞きしたいと思います。

マイナンバーカードについて、顔写真欄に偽の顔写真を貼り付けることによって不正に住民票を入手しようとした事件があると聞いたことがあります。

また、マイナンバーが個人情報の不正な名寄せに利用され、個人情報の不正売買が行われる危険性などがあると聞きました。

行政のデジタル化が進むと、便利な一面もありますが、適切に推進、運用を行わなければ、不正アクセスや個人情報の流出などのセキュリティリスクに繋がると考えられます。

そこで、市民の情報を守るために、門真市としてどのような取り組みやセキュリティ上の対策を行っているのかお聞かせください。

## 2

### ごみ問題について

次に、近年門真市でも問題となっているごみ問題について質問させていただきます。

私は道を歩いていると、ごみを見かけることがよくあります。

先日も盆にのった料理が道端に落ちているというか、置かれているような状態で、捨ててあったのを見て、とても衝撃を受けました。

このようなことはそう多くはありませんが、ごみのポイ捨てやカラスによるごみの散乱、ごみの置き忘れなどはよく見かけます。

私たちの学校では保健生活委員を中心に年に一度、学校周辺のごみ拾い活動をしており、小学校でも、子ども会が、ごみ拾い活動を年に数回していて、私も参加していました。

また、そもそもごみを出さない、増やさないようにするといった一人ひとりの意識の向上も必要だと思います。

そこで質問なのですが、

1. 市として地域のごみを減らすために、どのような活動をされていますか。
2. 地域住民のごみ問題に対する意識を変えるために、どのような取り組みを行われていますか。の2点についてお聞かせください。

最後に、私たちの中学校では、新型コロナウイルスの影響で、校長先生のお話など、体育館に集まるのではなく、各教室に設置しているモニターを通じて話を聞くようになりました。

現在、そのモニターを情報発信の場として活用しており、今後、私たちがこの中学生議会で知り得た「ごみ問題」などをテーマとして、身近で分かりやすい内容の動画を作成し配信することで、全生徒をはじめ、先生やご家庭まで地域のごみに対する意識向上に繋がるようにしていきたいと思えます。

門真市立門真はすはな中学校からは、以上です。  
ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

山本副議長

これより、理事者の答弁を求めます。

門真はすはな中学校の質問について【答弁】

**宮本市長**

門真市立門真はすはな中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、マイナンバーカードを活用した行政手続きについてであります。

マイナンバーカードには、オンライン申請などの行政手続において、他人による「なりすまし」やデータ改ざんを防ぐための、公的個人認証サービスの電子証明書が記録できるようになっており、安全で確実な本人確認が可能であることから、本市においては、現在、国が運営する電子申請サービス「ぴったりサービス」を活用し、子育て関係など14種類の手続について、マイナンバーカードによるオンライン申請が可能となっております。

また、平成24年度から、マイナンバーカードを利用した「証明書のコンビニ交付サービス」を実施しており、「住民票の写し」及び「印鑑登録証明書」については、マイナンバーカードをお持ちの市民であれば、市役所に来られなくても、お近くのコンビニにおいて、マルチコピー機を操作するだけで取得することができます。

また、市役所が閉まっている土曜日、日曜日、祝日、夜間・早朝においても取得することができます。

本年8月からは、新型コロナウイルス感染症予防接種証明書がコンビニ交付サービスで取得できるようになっており、令和5年1月からは、「課税証明書及び所得証明書」が取得できる予定となっております。

今後におきましても、引き続き、マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化やコンビニ交付サービスの拡充を図るとともに、更なる市民の利便性向上、職員の業務の効率化・省力化に向けて、マイナンバーカードを活用した申請書の自動作成などについても検討を行うなど、マイナンバーカードの普及・利活用につながる取組みに努めてまいります。

次に、情報セキュリティ対策についてであります。

まず、マイナンバーカードにつきましては、カード自体には所得情報や健康情報などのプライバシー性の高い個人情報記録されておらず、偽造防止のためのさまざまなセキュリティ対策が施されているほか、カードを受け取る際は、原則本人に来庁を求めた上で、市職員が対面での本人確認を行うなど、厳格な手続きを経て交付することとなっております。

また、本市においては、市内のネットワークを「マイナンバー及び個人情報を利用するネットワーク」、「他の市役所などと相互に接続する行政専用のネットワーク」、「インターネットの接続が可能なネットワーク」の3つの領域に分離しており、「マイナンバー及び個人情報を利用するネットワーク」の領域においては、インターネットに接続しないことで、サイバー攻撃や不正アクセスによる情報漏えいを防ぐ対策を講じております。

加えて、業務で使用するパソコンやプリンタなどへのICカード認証や顔認証の導入、データの暗号化とともに、情報セキュリティ事故の多くが「誤操作」や「紛失・置き忘れ」といった、いわゆるヒューマンエラーであることや、官公庁や企業を標的にした悪意のあるメール攻撃による被害状況などを踏まえ、職員の情報セキュリティ意識の向上を目的とした研修なども実施しております。

今後におきましても、これらの取組を継続するとともに、クラウドサービスなどの

新しい技術の導入や新たなリスクに対応できるよう、本市情報セキュリティ対策の統一的なルールである門真市情報セキュリティポリシーの適時適正な見直しと運用により、情報セキュリティ対策への実効性の確保とともに、対策レベルの向上を図ってまいります。

次に、市が行っている地域のごみを減らすための活動についてであります。

門真市では、ごみのないきれいなまちづくりを進めるため、平成 13 年に「門真市美しいまちづくり条例」を定め、道路及び公園等の公共の場所で、ごみ箱以外の場所に吸い殻や空き缶などを捨ててはならないと決めており、市のホームページやポスター等で、周知等を行っております。

また、美しいまちづくりを推進するため、国、大阪府及び門真市といった行政組織だけではなく、PTAや老人クラブをはじめとする市民団体並びに民間企業などの皆様とともに「門真市美しいまちづくり推進協議会」を設置し、まちをきれいにしようと呼びかける活動などを行っております。

今年は、9月17日土曜日に、「キラッと！かどま 2022」というイベントを実施し、市役所や駅の周辺を中心に、ボランティアで市内統一清掃活動を行っていただく予定としております。

次に、地域住民のごみ問題に対する意識を変えるための取り組みについてであります。

先ほどのイベントを含め清掃活動に参加された方々が、ごみのポイ捨て等を行うことは少ないと考えられるため、地域で清掃活動を行う自治会などの団体に対し清掃用具を貸し出して活動をサポートするとともに、長年にわたり定期的に地域の美化活動を行っている団体等への表彰も行っております。

また、広報等でポイ捨て防止を呼び掛けるなど意識啓発等を行い、住みたい、住み続けたいと思っただけのような美しいまち門真を目指して取り組んでおります。

つきましては、皆さんには、今後も引き続き、清掃活動などにご協力いただきたいと考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 山本副議長

以上を持ちまして、門真はすはな中学校の質問を終了いたします。

以上で質問は、すべて終了いたしました。  
皆様のご協力に感謝いたします。

本日、この本会議場で、中学生議員として、  
宮本市長に、ご答弁いただくという貴重な体験を  
しました。

この経験を活かし、これからも門真市を  
『住み続けたいまち・門真』にするには、  
どうすれば良いのか、引き続き考えていきたいと思いを  
ます。

これを持ちまして、『第10回 門真市 中学生議会』を閉会いたします。



---

---

閉 会

---

---

## 教育長挨拶

門真市教育委員会教育長の久木元でございます。

第10回中学生議会の閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

市内各中学校から18名の皆さんにご参加いただき、無事開催できましたことに厚くお礼申し上げます。



また、保護者の皆様をはじめ、多数の関係の皆様にもご参加いただき、厳粛なる議場の場で盛大に開催できましたことに心より感謝申し上げます。

本日、中学生議員の皆さんから幅広いテーマに沿って貴重なご意見を賜りました。いずれも本市の現状を見据え、事前勉強会も含め真剣に議論されたものであり、この門真をもっと住みよくしたいとの熱い思いがうかがわれ、うれしく思う次第です。

感想を二つ申し上げます。

本日の議員は男性1名、あとは女性。女性議員が圧倒的だったことです。

今、女性の社会進出が目覚ましくなりました。しかし政治の世界では日本は世界の国々に遅れています。

ある調査では、146か国中139位。先の参議院選挙で過去最多の35名。それでも25%。なぜ女性の政治参加が遅れているのか、是非調べてください。

皆さんのクロームブックで調べてください。「女性」「社会参加」「日本」と打ち込んで検索すると、関連するデータがヒットすると思います。

そのような中、本日の議会は時代を先取りする議会ではなかったかとうれしく思います。一方で、男子生徒にももっと頑張ってもらいたいと思います。

皆さんは今回、政治や門真市の行政について勉強しました。その中でいろいろ気づいたはずですよ。

課題を見つける力、受け止める力、その課題の背景について調べる力、課題解消に向けて意見を持つことと、それを発信する力等の大切さに気づいたことと思います。

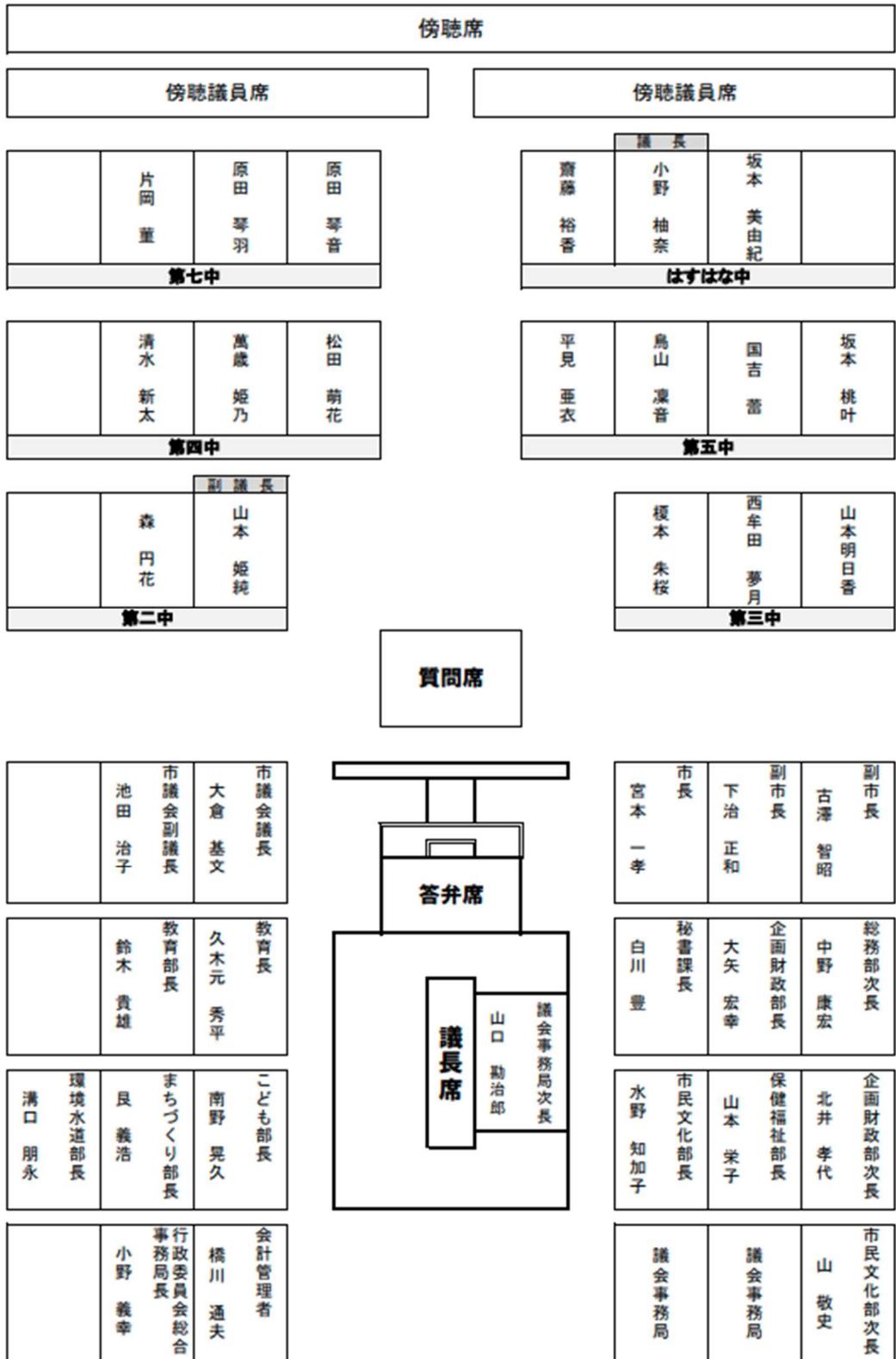
これからも税金が使われているのはどの分野かなど、政治や行政への関心を常日頃

から持つように心がけてください。世の中を動かすのは皆さんの力です。

これからも今回の経験を活かし、門真市のみならず広く社会や世界に関心を持ち、幅広い視点で物事を考え、提言し、主体的に行動できる人となってほしいと願っています。そして本日参加の皆さんの中から、将来、議員あるいは門真市役所職員が生まれることを期待しています。

以上を持ちまして、私からの閉会のご挨拶といたします。  
本日は、誠にありがとうございました。

# 令和4年 第10回 中学生議会 席列



# 第10回 門真市中学生議会



平見 亜衣 鳥山 凜音 国吉 蕾 坂本 桃叶 原田 琴音 片岡 董 原田 琴羽 齋藤 裕香 坂本 美由紀  
森 円花 山本 明日香 西牟田 夢月 榎本 朱桜 松田 萌花 萬歳 姫乃 清水 新太  
古澤 副市長 下治 副市長 宮本 市長 小野 柚奈 山本 姫純 大倉 市議会議長 池田 市議会副議長 久木元教育長

写真集

議会風景





## 市長と記念撮影

### 第二中学校



### 第三中学校



第四中学校



第五中学校

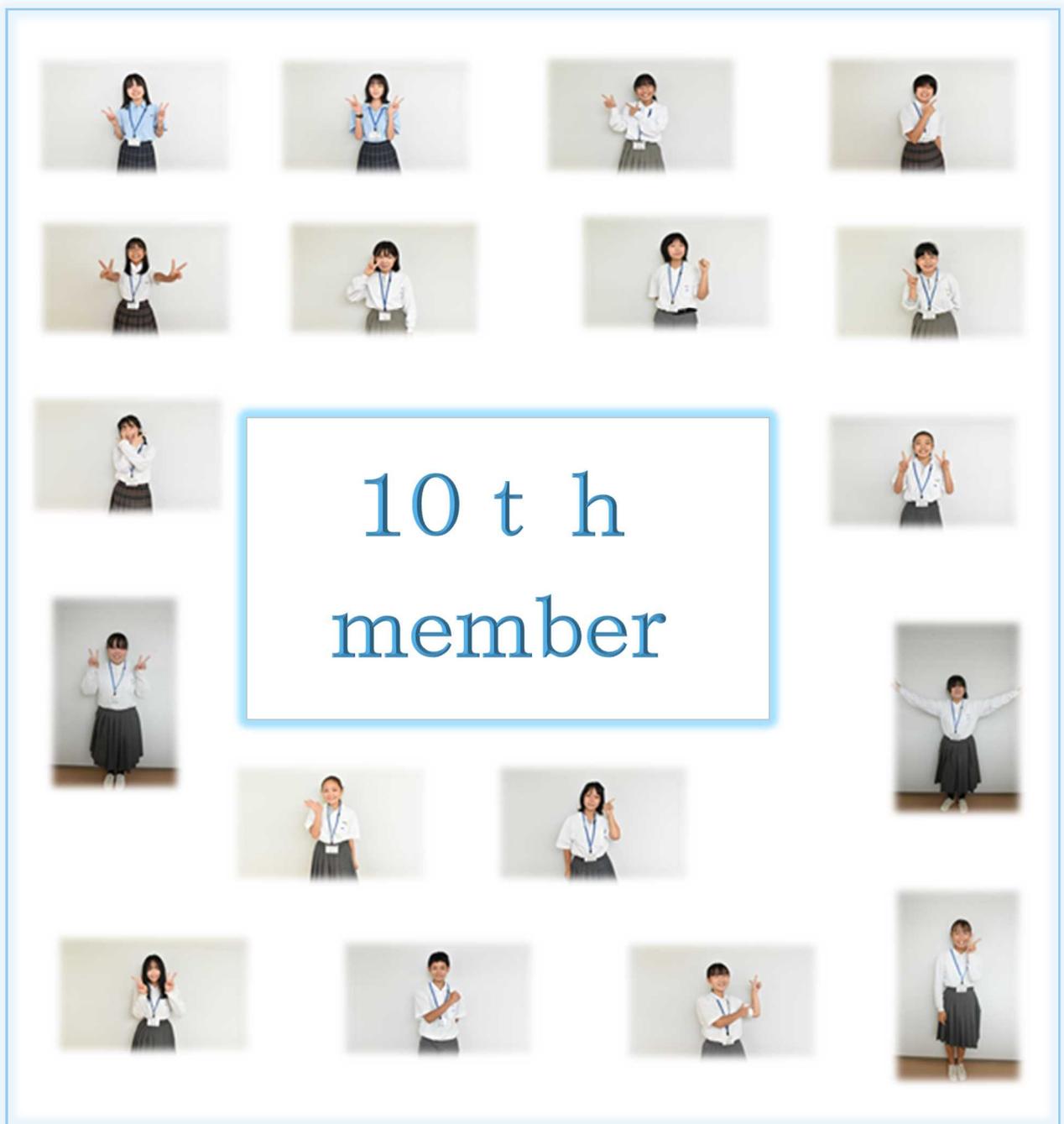


第七中学校



門真はすはな中学校





### 第 10 回中学生議会のあゆみ

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| ○事前学習会（第 1 回） | 令和 4 年 8 月 3 日（水）午前 10 時～正午  |
| （第 2 回）       | 令和 4 年 8 月 9 日（火）午前 10 時～正午  |
| ○事前練習会（リハーサル） | 令和 4 年 8 月 24 日（水）午前 10 時～正午 |
| ○中学生議会当日      | 令和 4 年 8 月 28 日（日）午前 10 時～正午 |



中学生議会を体験し、行政の仕組み・役割  
などを学び、社会参画する市民の一員とし  
て成長されることを願っています。

お疲れ様でした！！





